

岡山県感染症週報 2020年第24週 (6月8日～6月14日)

岡山県は『腸管出血性大腸菌感染症注意報』を発令しました(6月16日)

◆2020年 第24週(6/8～6/14)の感染症発生動向(届出数)

■全数把握感染症の発生状況

第23週	4類感染症	レジオネラ症	1名(60代 男)
	5類感染症	後天性免疫不全症候群	1名(20代 男)
		梅毒	1名(高校生 女)
第24週	2類感染症	結核	1名(90代 女)
	3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2名
		(O157: 幼児 男 1名、小学生 女 1名)	
	4類感染症	レジオネラ症	1名(50代 男)
	5類感染症	ウイルス性肝炎	1名(30代 男)
		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1名(70代 男)
		急性弛緩性麻痺	1名(幼児 女)
		百日咳	1名(幼児 女)



ソーシャルディスタンス・マスク・手洗い!

©岡山県「ももっち」

【第25週 速報】

○腸管出血性大腸菌感染症 3名(O157: 20代 男 1名、O158: 60代 女 1名、O血清群不明: 40代 男 1名)の発生がありました(6月17日～18日)。

1. [新型コロナウイルス感染症](#)は、2020年第24週までの累計報告数が25名となっています。岡山県や全国の発生状況、新型コロナウイルス受診相談センター連絡先など詳しくは、岡山県感染症情報センターホームページ『[新型コロナウイルス感染症について](#)』をご覧ください。
2. [腸管出血性大腸菌感染症](#)は、第24週に2名の報告があり、2020年第24週までの累計報告数は16名となりました。例年、同感染症は、6月中旬から8月にかけて発生が増える傾向があることから、岡山県は6月16日に「[腸管出血性大腸菌感染症注意報](#)」を県下全域に発令し、注意喚起を図っています。詳しくは、岡山県感染症情報センターホームページ『[腸管出血性大腸菌感染症注意報 発令中!](#)』をご覧ください。

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ	➡		RSウイルス感染症	➡	
咽頭結膜熱	⬆	★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	⬇	★
感染性胃腸炎	➡	★	水痘	⬆	★
手足口病	⬆	★	伝染性紅斑	⬆	★
突発性発疹	➡	★	ヘルパンギーナ	⬆	★
流行性耳下腺炎	⬆	★	急性出血性結膜炎	➡	
流行性角結膜炎	➡	★	細菌性髄膜炎	➡	
無菌性髄膜炎	➡		マイコプラズマ肺炎	➡	
クラミジア肺炎	➡		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	➡	

【記号の説明】 前週からの推移： ⬆：大幅な増加 ⬆：増加 ➡：ほぼ増減なし ⬆：減少 ⬇：大幅な減少
 大幅：前週比100%以上の増減 増加・減少：前週比10～100%未満の増減

発生状況：今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。(発生数が多いことを示すものではありません。)
 空白：発生なし ★：わずか ★★★：少し ★★★★★：やや多い ★★★★★★：多い ★★★★★★★★：非常に多い

★予防接種を受けて、重い感染症にかかるリスクから子どもを守りましょう！★

現在、新型コロナウイルス感染症の流行による影響から、子どもの定期予防接種率の低下が懸念されています。

予防接種のタイミングは、感染症にかかりやすい年齢などをもとに決められています。子どもの予防接種を遅らせると、必要な免疫をつけることができなくなり、予防接種で防ぐことのできる重い感染症にかかる危険性が高まります。

特に生後2か月から受け始めることは、母親からもらった免疫が減っていくときに、乳児がかかりやすい百日咳、細菌性髄膜炎などの感染症から乳児を守るために、とても重要です。医療機関では、予防接種を行う時間や場所に配慮し、換気や消毒を行うなど、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に努めています。

子どもの予防接種は決して「不要不急」ではありません。まだ接種期間内の方は、早めに予防接種を済ませましょう。

予防接種に関する疑問点などは、お住まいの市町村にお問い合わせください。

[遅らせないで！子どもの予防接種と乳幼児健診（厚生労働省）](#)

[予防接種スケジュール（国立感染症研究所）](#)

[新型コロナウイルス感染症に関するQ&A（公益社団法人 日本小児科学会）](#)

風しんの抗体検査（無料）を受けましょう！

<妊娠を希望する女性や同居する家族の方>

岡山県・岡山市・倉敷市では、先天性風しん症候群（CRS）*の予防を目的として、**風しんの無料抗体検査**を実施しています。

県内の抗体検査実施医療機関において、窓口で費用を負担することなく検査を受けることができます。検査の詳細は、下記のホームページ

岡山市・倉敷市以外 → [風しんの無料抗体検査が受けられます（岡山県健康推進課）](#)

岡山市 → [風しんの無料抗体検査](#)

倉敷市 → [風しん抗体検査について](#) をご覧ください。

<1962(昭和37)年4月2日から1979(昭和54)年4月1日までに生まれた男性>

風しんの抗体保有率が低い1962年4月2日から1979年4月1日までに生まれた男性に対して、まずは**無料で抗体検査**を受け、**抗体価が低い場合は風しんの予防接種を無料で受けることができる**制度が、全国的に始まりました（2019年4月から2022年3月31日まで）。

市町村から対象者に、順次風しんクーポン券が送付されることとなっており、以下のリストに掲載されている医療機関で、無料で抗体検査が受けられます。

[市町村から届いたクーポン券を使用できる岡山県内の医療機関リスト](#)

*妊娠初期に風しんに罹患すると、出生児に先天性風しん症候群（CRS）と総称される障がいを引き起こすことがあります。先天性心疾患、難聴、白内障が3大症状です。

岡山県の2019年4月～2020年3月の風しんのクーポン使用実績（抗体検査）は、19.5%と未だに低い状況です！

CRSを防ぐためにも、必要な方は確実に予防接種を受けましょう！

[風しんの追加的対策について（厚生労働省）](#)

[風疹に関する疫学情報（2020年）（国立感染症研究所）](#)



© 岡山県「ももっち」

◆◆◆ 食中毒予防の3原則 ◆◆◆

岡山県は腸管出血性大腸菌感染症注意報・食中毒注意報発令中です！

例年、梅雨から夏にかけての高温多湿になる時期は、食中毒菌による感染性胃腸炎が増加します。

次の3原則に心がけ、予防に努めましょう。

➤ 「清潔」 (菌をつけない)

- ・調理前、食事前、トイレ後には、石けんと流水で手をよく洗いましょう。
- ・まな板、ふきん等の調理器具は、十分に洗浄・消毒を行いましょう。
- ・焼肉をする時は、生の肉をつかむはしと食べるはしを使い分けましょう。

➤ 「迅速・冷却」 (菌を増やさない)

- ・生鮮食品や調理後の食品は、できるだけ早く食べましょう。
- ・生鮮食品や調理後の食品は、10℃以下で保存しましょう。
(生食用鮮魚介類は、4℃以下で保存するよう努めましょう。)

➤ 「加熱」 (菌をやっつける)

- ・加熱して食べる食品は、中心部まで十分に火を通しましょう。
- ・特に、食肉は中心部の色が完全に変わるまで十分に火を通し、生食は避けましょう。



© 岡山県「ももっち」

[食中毒予防の3原則 \(岡山県生活衛生課\)](#)
[家庭でできる食中毒予防の6つのポイント \(厚生労働省\)](#)

保健所別報告患者数 2020年 24週(定点把握)

(2020/06/08～2020/06/14)

2020年6月18日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	14	0.26	2	0.14	3	0.27	-	-	5	0.71	-	-	-	-	4	0.67
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	19	0.35	5	0.36	8	0.73	1	0.10	2	0.29	-	-	-	-	3	0.50
感染性胃腸炎	111	2.06	42	3.00	16	1.45	24	2.40	6	0.86	8	2.00	2	1.00	13	2.17
水痘	4	0.07	1	0.07	-	-	1	0.10	1	0.14	-	-	-	-	1	0.17
手足口病	4	0.07	2	0.14	1	0.09	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	2	0.04	1	0.07	-	-	1	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	17	0.31	5	0.36	7	0.64	-	-	1	0.14	-	-	-	-	4	0.67
ヘルパンギーナ	1	0.02	-	-	-	-	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	1	0.02	1	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	0.17	1	0.20	1	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2020年 24週(発生レベル設定疾患)

(2020/06/08～2020/06/14)

2020年6月18日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	14	0.26	2	0.14	3	0.27	-	-	5	0.71	-	-	-	-	4	0.67
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	19	0.35	5	0.36	8	0.73	1	0.10	2	0.29	-	-	-	-	3	0.50
感染性胃腸炎	111	2.06	42	3.00	16	1.45	24	2.40	6	0.86	8	2.00	2	1.00	13	2.17
水痘	4	0.07	1	0.07	-	-	1	0.10	1	0.14	-	-	-	-	1	0.17
手足口病	4	0.07	2	0.14	1	0.09	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	2	0.04	1	0.07	-	-	1	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	1	0.02	-	-	-	-	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	1	0.02	1	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	0.17	1	0.20	1	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

今週、岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2、レベル3に該当するものではありませんでした。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2020年 第24週 2020/06/08～2020/06/14)

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～	
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱	14	-	3	7	2	-	-	1	-	-	-	-	-	1	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	19	-	-	2	-	1	2	4	1	1	2	5	-	1	
感染性胃腸炎	111	-	10	14	7	6	4	5	3	6	4	7	23	11	11
水痘	4	-	-	1	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	
手足口病	4	-	2	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑	2	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	
突発性発疹	17	-	8	5	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

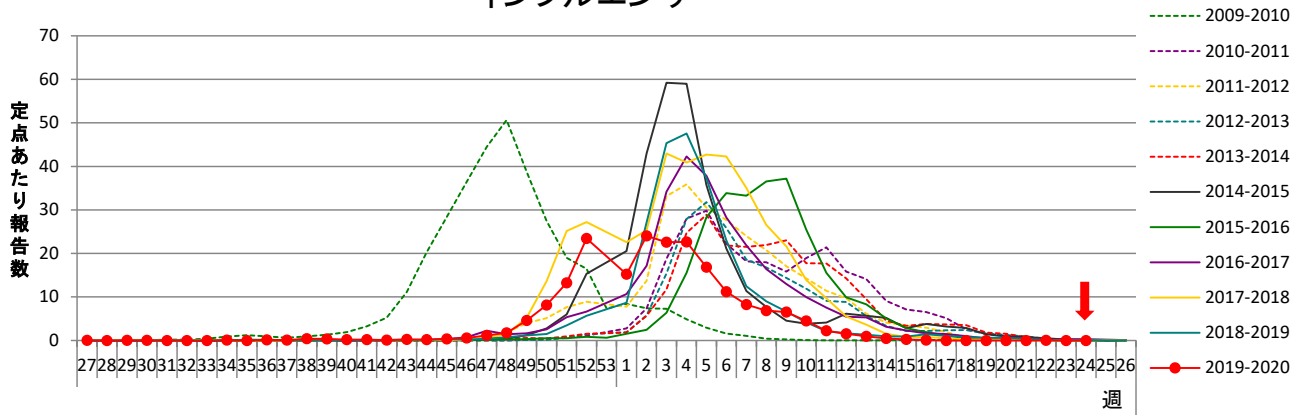
(- : 0)

全数把握 感染症患者発生状況

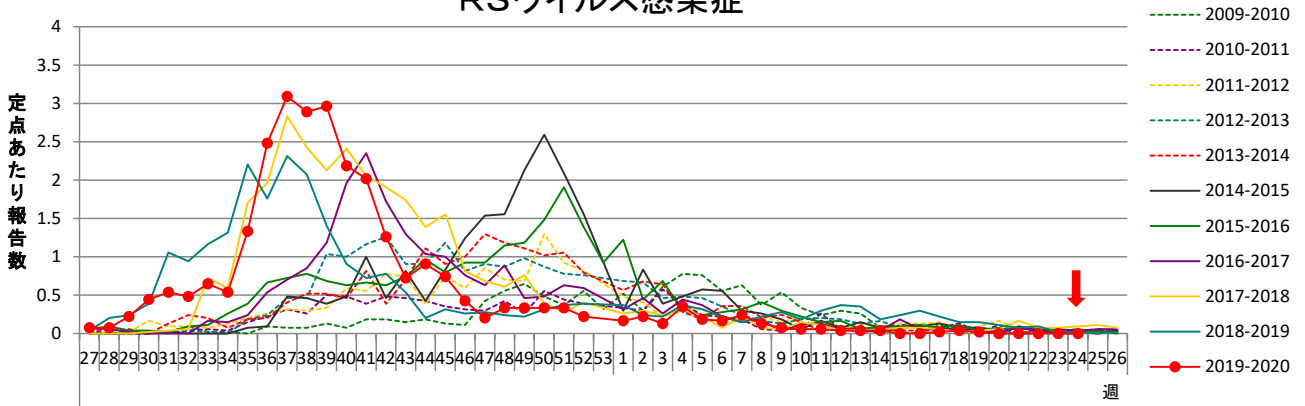
2020年 24週

分類	疾病名	2020		2019	疾病名	2020		2019	疾病名	2020		2019
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	1	117	304	ジフテリア	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	中東呼吸器症候群	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H7N9)	-	-	-	新型コロナウイルス感染症(指定感染症)	-	25	-		-	-	-
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢	-	-	4	腸管出血性大腸菌感染症	2	16	61
	腸チフス	-	-	-	パラチフス	-	1	-		-	-	-
四類	E型肝炎	-	1	1	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	1	1
	エキノкокクス症	-	-	-	黄熱	-	-	-	オウム病	-	-	-
	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-	キャサヌル森林病	-	-	-
	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-	コクシジオイデス症	-	-	-
	サル痘	-	-	-	ジカウイルス感染症	-	-	-	重症熱性血小板減少症候群	-	1	3
	腎症候性出血熱	-	-	-	西部ウマ脳炎	-	-	-	ダニ媒介脳炎	-	-	-
	炭疽	-	-	-	チクングニア熱	-	-	-	つつが虫病	-	1	3
	デング熱	-	-	7	東部ウマ脳炎	-	-	-	鳥インフルエンザ	-	-	-
	ニパウイルス感染症	-	-	-	日本脳炎	-	-	-	日本紅斑熱	-	1	3
	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	Bウイルス病	-	-	-	鼻疽	-	-	-
	ブルセラ症	-	-	-	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-
	発しんチフス	-	-	-	ポツリヌス症	-	-	1	マラリア	-	-	-
	野兔病	-	-	-	ライム病	-	-	1	リッサウイルス感染症	-	-	-
	リフトバレー熱	-	-	-	類鼻疽	-	-	-	レジオネラ症	1	37	57
	レプトスピラ症	-	-	-	ロッキー山紅斑熱	-	-	-		-	-	-
	五類	アメーバ赤痢	-	10	14	ウイルス性肝炎	1	2	12	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	14
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)		1	1	2	急性脳炎	-	5	19	クリプトスポリジウム症	-	-	-
クロイツフェルト・ヤコブ病		-	1	5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	2	6	後天性免疫不全症候群	-	10	10
ジアルジア症		-	-	-	侵襲性インフルエンザ菌感染症	-	1	4	侵襲性髄膜炎菌感染症	-	-	-
侵襲性肺炎球菌感染症		-	7	45	水痘(入院例に限る。)	-	2	9	先天性風しん症候群	-	-	-
梅毒		-	75	190	播種性クリプトコックス症	-	2	1	破傷風	-	3	3
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		-	-	-	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	3	百日咳	1	82	428
風しん		-	1	3	麻しん	-	-	-	薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	-	-

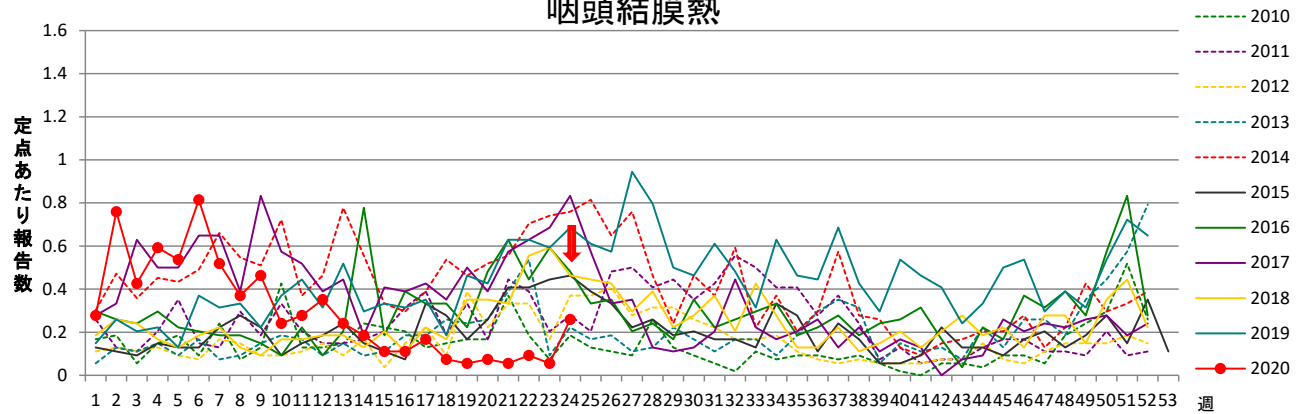
インフルエンザ



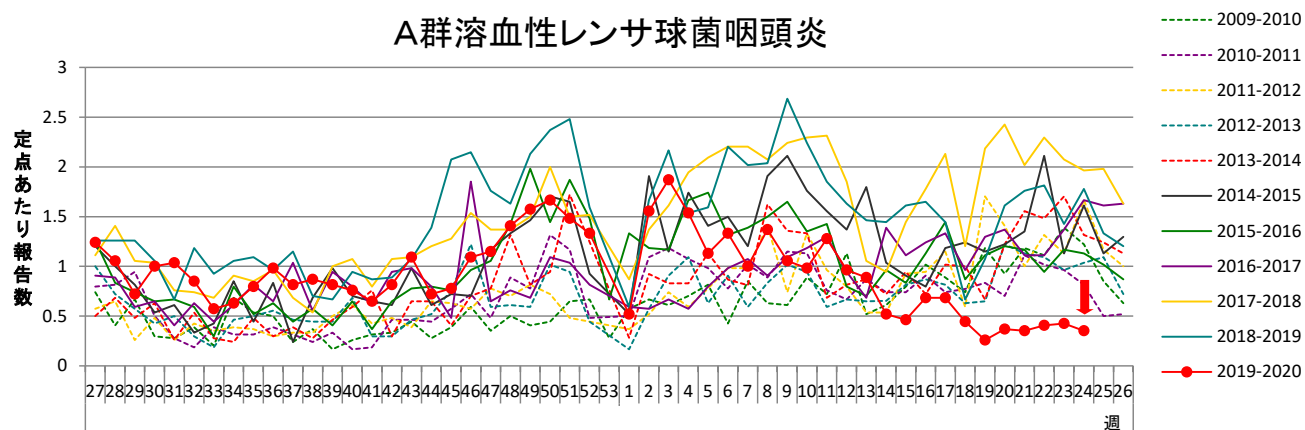
RSウイルス感染症



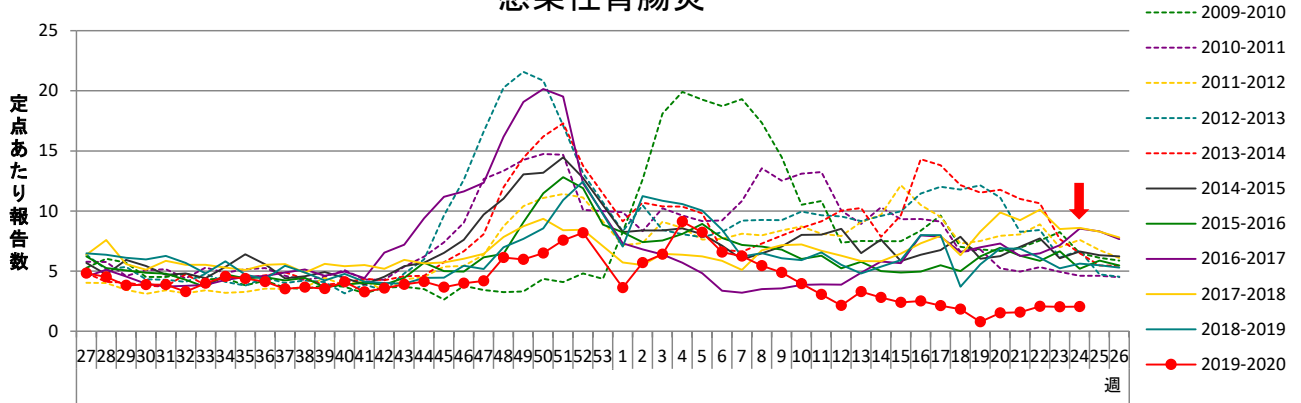
咽頭結膜熱



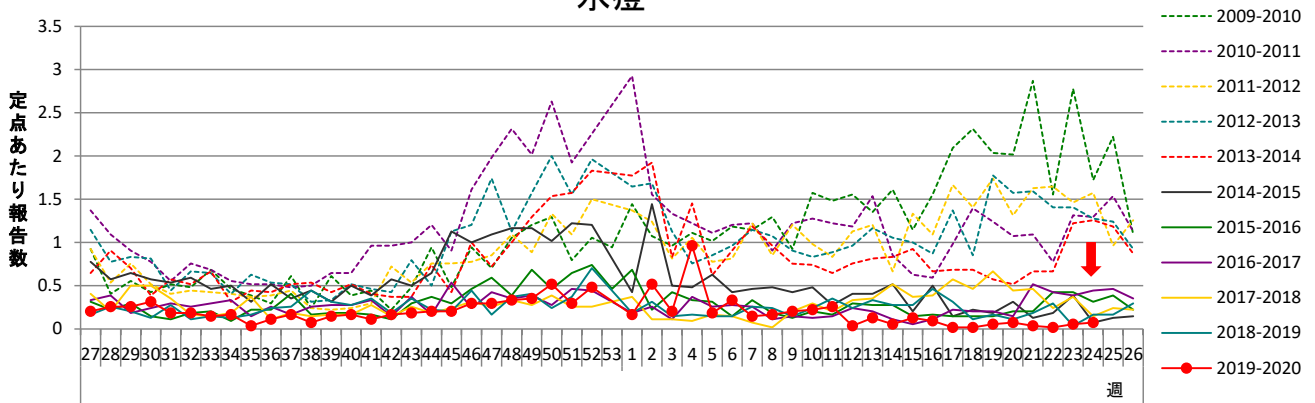
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



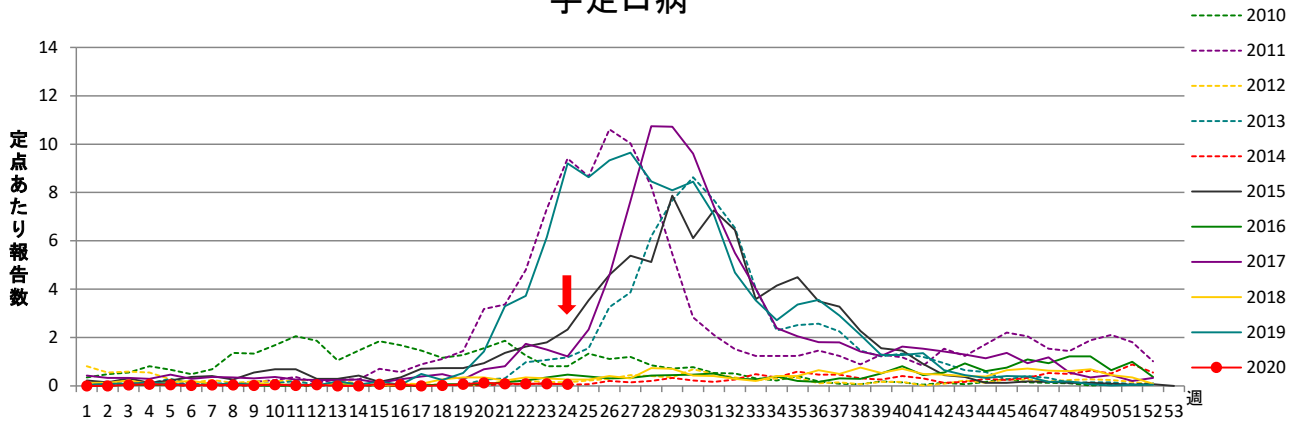
感染性胃腸炎



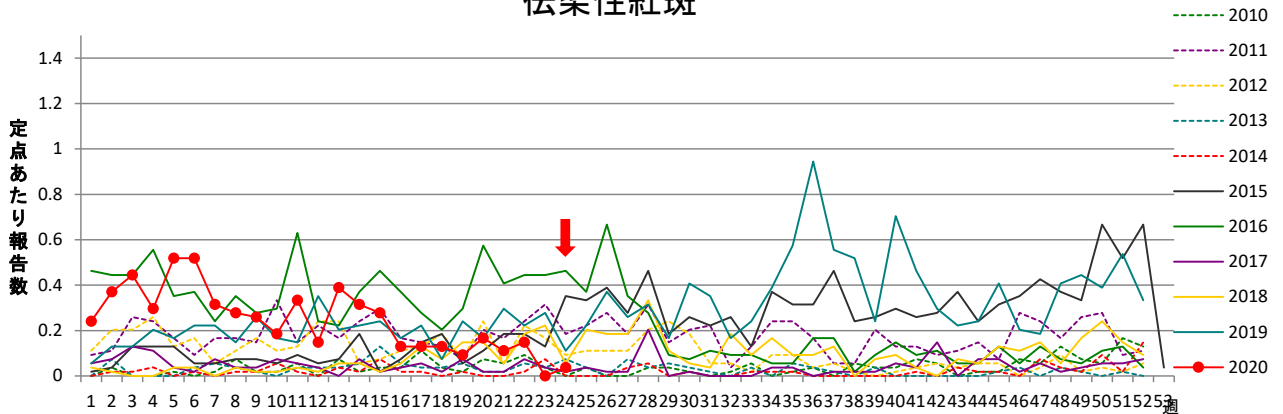
水痘



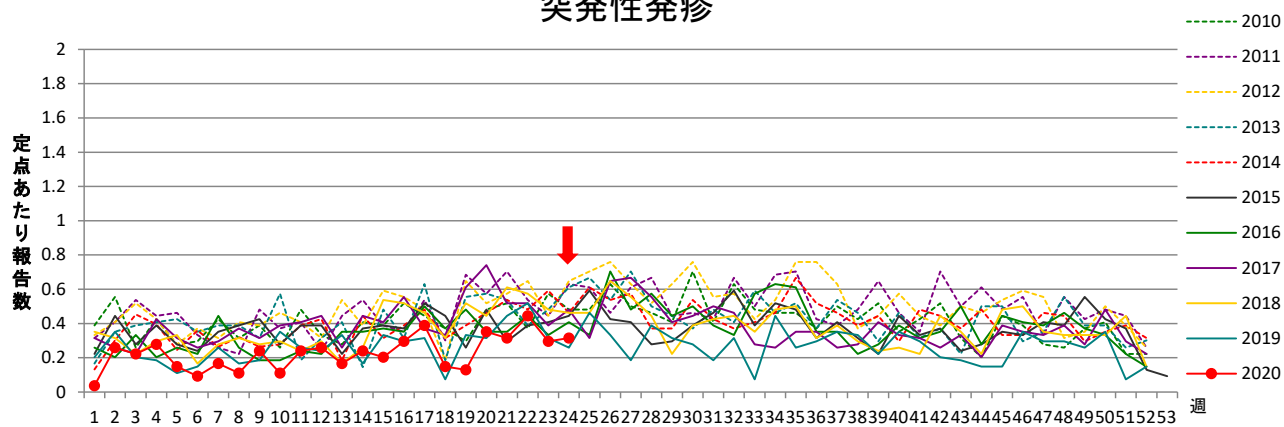
手足口病



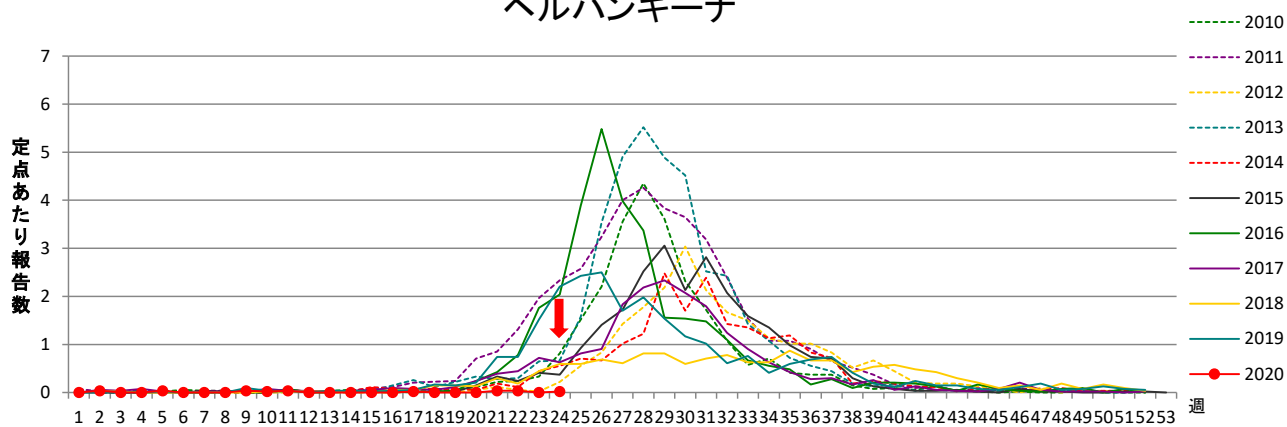
伝染性紅斑



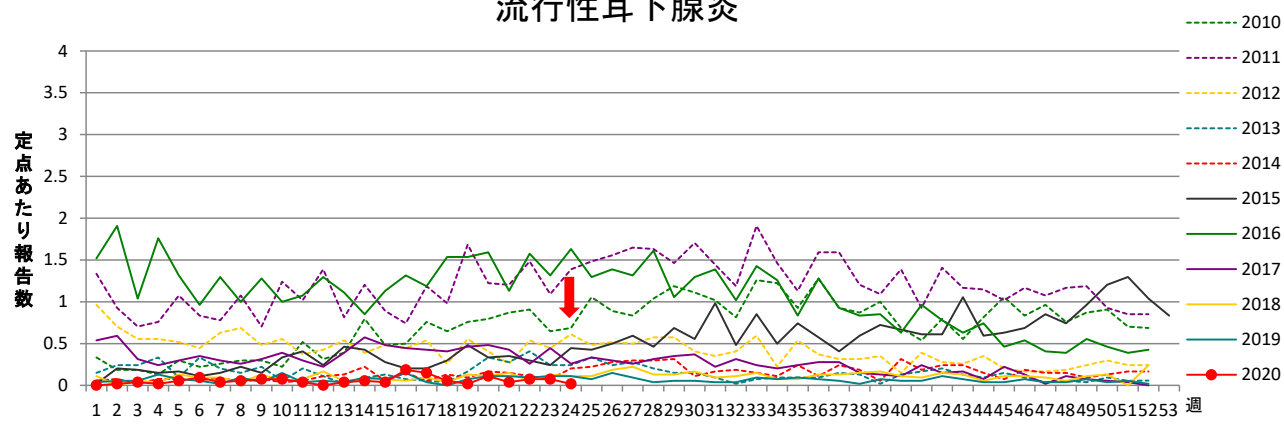
突発性発疹



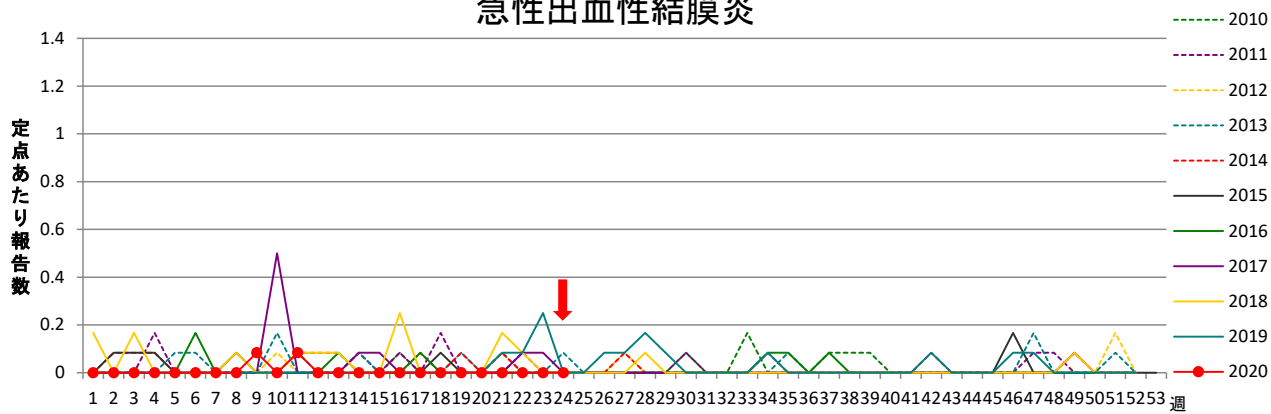
ヘルパンギーナ



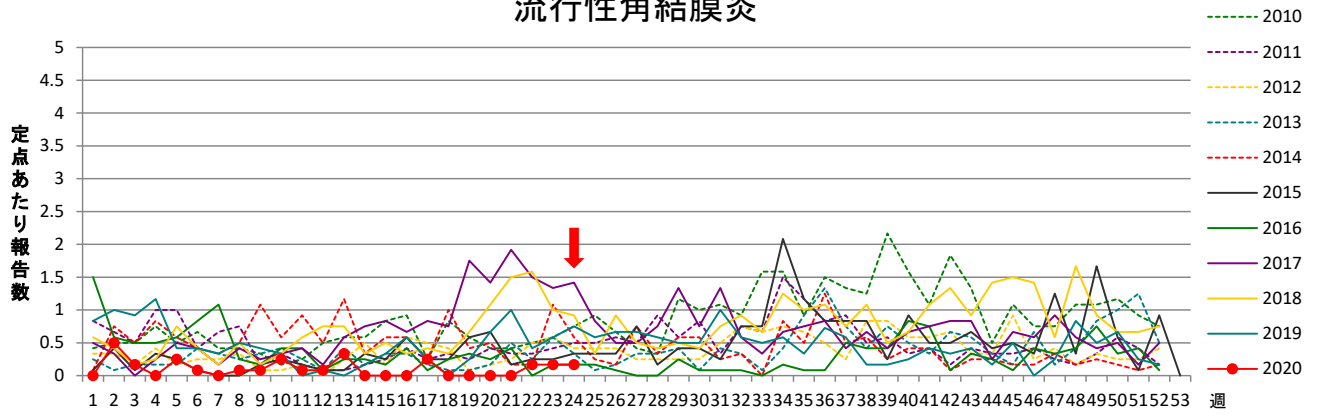
流行性耳下腺炎



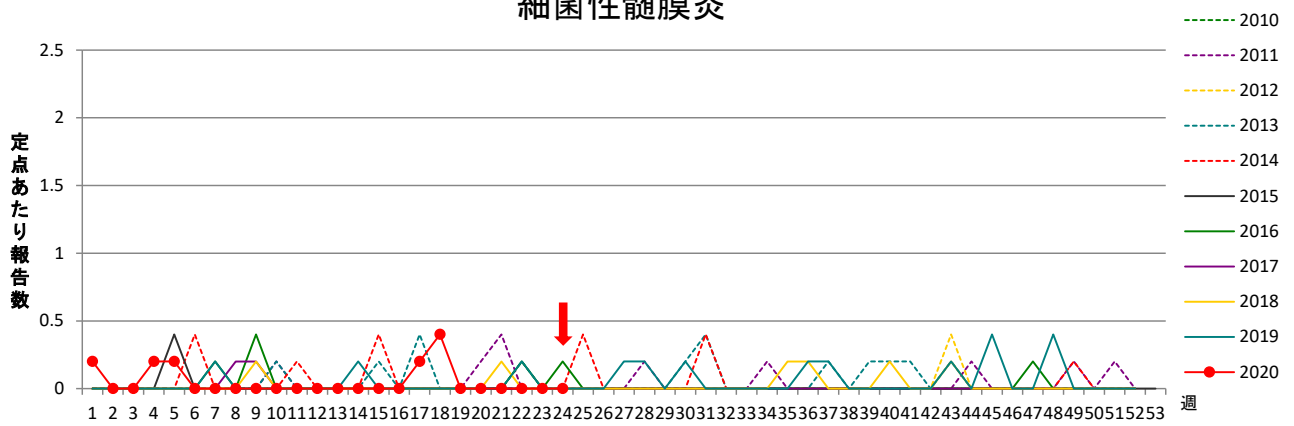
急性出血性結膜炎



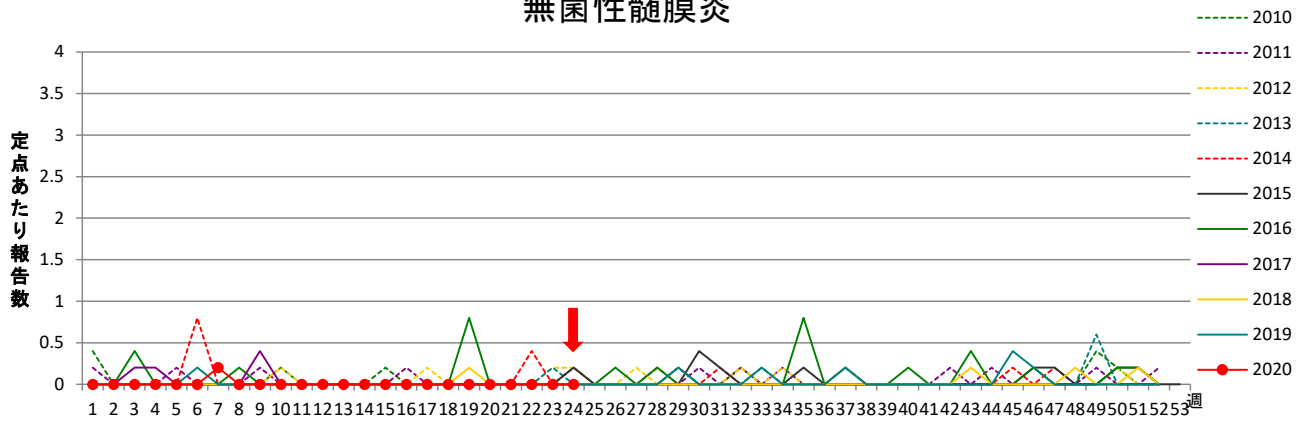
流行性角結膜炎



細菌性髄膜炎



無菌性髄膜炎



マイコプラズマ肺炎

